

令和6年5月31日発行

横浜市立六浦小学校学校だより



# むつうら



本校教育目標「つながるなかま まち いきいき 六浦っ子」

## 古き良き伝統への思い～「木遣と祭囃子」

校長 内野 泰久

プール掃除や田んぼづくり計画など、夏に向けての学習の準備が進んでいます。6 月には宿泊体験学習など学年の大きな行事も予定されています。子どもたちにとって、忘れられないかけがえのない体験になるようにしていきます。

先日、金沢公会堂で行われた金沢区木遣囃子連絡協議会主催の「金澤の木遣(※)と祭囃子」というイベントを観覧しました。今回で 9 回目を迎える、金沢区内の町内会が保存会を作り伝統を守り続けている木遣と祭囃子を披露するイベントです。笛の音と太鼓でリズムカルに奏でる祭囃子に合わせて深く響く声で歌われる木遣は各町内会の特色があり、見ごたえ、聞きごたえがあるととても素晴らしいものでした。

特に六浦睦町内会の木遣保存会、祭囃子保存会、纏会の皆様の舞台は、重さ 20 kg の二本の纏が舞台狭しと豪快に舞う、まさに勇壮という言葉がぴったりのもので非常に感動しました。本校の子どもや卒業生も祭囃子のメンバーで、纏会のメンバーの保護者の方も出演していました。

その中で、伝統芸能全般にあてはまりますが、木遣、祭囃子の担い手の高齢化と後継者の不足の問題が、語られていました。本当に大きな課題だと思います。古き良き伝統を守ることで学校教育にでき

ること…深く、考えさせられる事です。子どもたちから地域行事に参加し、地域の人と触れ合う体験、住んでいる地域に誇りを持つことができる体験を積んでいくことが大切だと思います。六浦小学校はご存じの通り 150 年以上の歴史のある学校です。伝統を継承する大切さを伝えていきたいと改めて強く思いました。

※木遣(きやり)… 古から伝わる労働歌、民謡や祭礼の唄として伝承されている。

金沢区内各地に古から伝わっている。

